

## 地域の話 ②

# 地域とともに歩む

～学校周辺をうるおいあるふるさとに～

# 花いっぱい運動



札幌市立前田中央小学校  
教務主任

佐藤 毅

本校は、札幌市の北西部手稲区にある児童数約600名、開校16年を迎える市内では中規模の比較的新しい小学校です。

校区の南側はJR手稲駅から続く新しい商店街で、北側は石狩市に接し、前田森林公園や今は少なくなった牧場が残り、のどかな風景が見られる新興住宅街に位置しています。

### 花いっぱい運動

平成12年「札幌市学校開放地域モデル事業」の委託を受けて以来、地域の方々の協力をえて、「花いっぱい運動」を実施し、今年で3年目を迎えました。

「学校・家庭・地域社会が一体となって子どもを健やかに育てたい」「花を育てることにより、子供たちに責任感と持続力、自然愛護やボランティア精神を育てたい」という願いと「学校周辺を花のある美しい地域にして、子供も大人も自分たちが住んでいる地域を誇りとし、大切に作る心を育て

たい」という主旨でスタートしました。

### 準備

学校開放地域モデル事業で配当された資金を使い、「前田中央花いっぱい」という名前も入れたプランター160個とそれに入れる培養土や肥料、消毒剤もあわせて購入しました。

花の苗は、「サントリー風の子ガーデニング」に応募した「サフィニア」や校区内にある札幌高等養護学校との交流を通して養護学校生活園芸科の生徒が育て、安く分けていただいた「インパチェンス」や「ペチュニア」などで準備しました。



子供たちが札幌高等養護学校に苗の買いに行きました

一つのプランターにアイビーも加え、8株程度植え込みました。それを学校周辺を走る2つの道路「稲積前田連絡線」と「前田北38号線」に面して両側に建つ家の沿道に置かせてもらいます。



美しく咲いた子供達の花



沿道に置かれたフラワーポット

これに先立ち、これらの家がある「前田ゆたか」「わらび北」両町内会には役員会を開いていただき、学校からの協力要請を快く引き受けていただきました。

また、手稲区土木センターを通して「道路占用許可書」を札幌市に、「道路使用許可書」を札幌方面西警察署に発行してもらい、実施上のアドバイスもいただきました。

### 取組み

今年度は5月下旬にPTA厚生委員会環境係のお母さんたち20名程の協力のもと、消毒し、元肥を入れた培養土をプランターに移し替えたり、児童の移植の指導をお願いしました。

実際に移植するのは、新しく授業として創設された「総合的な学習」の時間を使い、本校3・4年生の児童で行いました。3年生は2人で1つ、4年生は1人で1つのプランターに花の苗を移植しました。



お母さんたちの指導のもとに移植しました

移植が初めての3年生は、適当な深さに土を掘ることができなかつたり、ポットから花の苗を出せなかつたりと四苦八苦でしたが、初めての経験に目を輝かせていました。

4年生は、昨年経験しているので手早く移植できました。その後、一人一人が分担している家庭に花のお世話をお願いする手紙を書きました。



いただいた手紙

その手紙に対する返事も地域の方々から児童に多数寄せられました。

そこには、「花を枯らさないようにします。」などの花いっぱい運動に対する承諾はもちろんのこと、児童の勉強に対する励ましや、「娘も前田中央小学校を卒業して今はこうしています。」など家族のことを知らせてくれるものまでありました。

プランターを置かせていただいているご家庭には、日々花への水遣りや雑草抜き、追肥に協力していただいています。さらに、プランターの下にブロックや小さな椅子などを用意して花をいっそう美しく咲かせていただいています。



時々様子を見ながらお話しします

### これから

この運動は「学校と地域が一体となって子供を健やかに育てていく」と願った方向に徐々に歩みだしました。そして、これが「新しい形のふるさとづくり」に定着していけるようこれからも努力していこうと思います。

また、ささやかですが「稲積前田連絡線」と「前田北38号線」が「単なる移動としての通路の道」から「そこに住む人々の交流の場としての道」に生まれ変わっていくことを願っています。



お礼の手紙を渡しました